

# 国際交流のかけはし 6名の留学生が来町

今回来町された留学生の皆さん

-  イ チョンさん  
国籍：韓国  
ホストファミリー：岩永廣一郎宅(北落合)
-  ベ ボミさん  
国籍：韓国  
ホストファミリー：山田東樹宅(幾寅)
-  ソン カヨンさん  
国籍：韓国  
ホストファミリー：佐藤茂宅(幾寅)
-  はやし まさみさん  
国籍：日本(ブラジル)  
ホストファミリー：川村勝彦宅(幾寅)
-  コー ショーケンさん  
国籍：中国(香港)  
ホストファミリー：小野洋子宅(幾寅)
-  バク シセイさん  
国籍：中国(香港)  
ホストファミリー：長谷川英夫宅(下金山)

8月21日から28日までの8日間、町国際交流協議会(川村勝彦会長)の主催による「第8回南ふらの国際交流のかけはし」が行われ、今年は、東京の日本語学校に留学中の3カ国6名の留学生が、協議会員6世帯にホームステイしながら、南富良野の生活や文化に触れ、町民との交流も深めました。

この事業は、(財)北海道国際交流センターの協力で留学生を招き、町民との交流から互いに国際理解と友好を深めようという行われているもので、本町で留学生の受け入れを始めてから今年で16回目を数えます。

留学生は8月21日に来町し、出迎えたホストファミリーと初対面し笑顔で固い握手を交わしていました。

この日の夜には、来賓や町民が参加して、「ウェルカム町民国際交流パーティー」がみなくては開かれ、一人ずつ日本語で自己紹介や参加した抱負などを述べたほか、出席した皆さんと会話をしたり、ビンゴゲームなどで交流を深めました。

翌日の22日には役場を訪れ、池部町長を敬訪問しました。池部町長が韓国語や中国語などで挨拶し、なごやかな雰囲気の中で懇談が行われ、留学生の皆さん



6名の留学生が池部町長を敬訪問

は笑顔で母国の話や北海道についての感想を話していました。

引き続き行われた施設見学では町内を一周りして、各施設や街並みを見学し、



子ども達との楽しい交流(幾寅小学校)



空知川でのラフティング体験



家族の皆さんと作った料理を前に記念撮影

本町の景色に感激したように、行く先々でカメラを手手に撮影していました。

23日には、学校訪問が行われ、それぞれ町内の小学校を訪問し、元気な児童生徒の歓迎を受け、英語や書写などの授業を通して、児童と楽しく交流しました。

来町4日目の24日には、ウェットスーツに身を包んだ留学生の皆さんが、空知川でのラフティングを体験しました。体験後の皆さんは、とても晴れやかな表情で、「楽しかったです。」と話し、ラフティングの醍醐味を満喫したようでした。

夜には、それぞれが浴衣に着替えて、幾寅地区で行われた盆踊り大会に参加し、地域の皆さんと一緒に輪の

中で踊り交流を深めました。

8月27日には、各ホストファミリーが集まって「さよならパーティー」が開かれ、それぞれの国の料理を作って持ち寄り、その料理を囲んで行われ、留学生の歌や踊りなどが披露され、楽しいパーティーとなりました。

留学生からは、滞在中の感想やお礼の言葉が述べられ、お父さんお母さんとの別れを惜しんでいました。

8月28日、役場前で見送り式が行われ、川村協議会長や池部町長から、留学生へ激励の言葉が贈られた後、留学生から8日間一緒に生活した家族に、お礼とお別れの挨拶が述べられ、涙を流しながら南富良野をあとにしました。



さよならパーティで歌を披露する留学生



施設見学では金山ダムの提内を見学

# 旭日双光章を受章 故鍛冶場春雄さん(金山)

元町議会議員の故鍛冶場春雄さん(79歳)が、地方自治の育成発展に貢献した功績が認められ、「旭日双光章」を受章されました。

鍛冶場さんは、金山の出身で、昭和54年5月、地域住民から推されて南富良野町議会議員に当選以来、平成15年4月まで6期24年の永きにわたり在職し、その間、常に卓越した見識をもって議会に臨み、議会の円滑な運営に尽力されました。

また、南富良野町議会において、副議長、厚生常任委員会委員長などを歴任し、高邁な政治信念をもってわがまちの産業・福祉の充実、行財政・教育行政の確立など、地方自治の発展に多大な貢献をされました。

この度の栄誉は、こつた永年にわたる功績が認められたもので、去る8月28日に役場で行われた伝達式で故人に代わり、渉子夫人が池部町長より叙勲を受けられました。

故人のこの度の受章に対し、心からお祝い申し上げ、ご冥福をお祈りします。



池部町長より叙勲を受けられる鍛冶場渉子さん

# 上川支庁管内町村長会議が開催される

上川支庁管内町村会(会長・関崎定治東神楽町長)が主催する上川支庁管内町村長会議が9月5日、17町村の首長が出席して情報プラザを会場に行われました。

会議では、協議事項として提案のあった上川管内における作況指数の分割化について協議が行われ、現行制度では、南北に非常に長い上川管内において同一の作況指数が使用されていることにより、生産者である農家にとって大変深刻な問題であることから、既に作況指数が分割化されている空知管内と同様に上川管内についても分割できるよう、国や道に対する更なる要望など、今後の取り組みについて協議されました。

また、福祉関係については、全国的にも問題となっている医師や看護師不足の中、地域医療の充実を図る対策について活発な議論が行われました。

会議終了後、町内の施設見学も行われ、落合地区の空知川上流部で、観光客などが「ラフティング」を行っている様子を見学したほか、空知川スポーツリンクスでは、施設の整備状況やカーリング競技についての説明を受け、熱心に見学されていました。

この後、社会福祉法人南富良野大乗会が運営する「なんぶ」香房森のパン屋を見学し、できたてのパンを味わいながら、職員から施設の概要などについて説明を受けていました。



渡月橋からラフティングの様子を見学する上川管内町村長の皆さん